



学校運営協議会だより

令和8年8月25日(火)
国立市立国立第四小学校
校長 白鳥 聡

合言葉「夢いっぱい 感動いっぱい チャレンジいっぱい 国立第四小学校」

令和8年度 第3回運営協議会を開催しましたので、議事の概要を報告します。

開催日時 令和8年8月21日(金) 9:30~10:45
会 場 国立第四小学校 第一会議室
出席者 緑川 隆(会長) 日吉 友里奈(副会長) 白鳥 聡(校長) 榎本 七重
立入 秀子 関 武彦 斎藤 裕子 上原 晴彦
柏木 光晴(主幹教諭) 若月 雅人(主幹教諭)
地域学校協働活動推進員 日吉 友里奈

司会 緑川 隆(会長) 記録 野口 陽子(副校長)

《協議内容》

- 2学期からの教育活動について
- 学校評価報告書について

《主な意見》

■ 2学期の主要行事について

- ・ 運動会:10月10日(土)【予備日:10月11日(日)】
順延の場合:10月14日(水)(※12日は祝日、13日は振替休業日)
- ・ 学芸会:12月4日(金)・5日(土)
開催場所:体育館(保護者鑑賞日は5日)

■ 学校評価

- ・ 「めあての提示」と「子供の目的意識」の違いについての議論があり、保護者アンケートについても学校公開が少ない現状があるのでアンケートの設問自体を検討すべきとの意見があった。
- ・ タブレット端末による電子図書も一部利用可能になってきているが、小学生の段階では手で紙に触れて読む習慣を大切にしてほしいという意見が多くあった。
- ・ たてわり班活動の実践では成果は出ているものの、具体的に何をしているか知らない保護者が多いため、学校側からのより丁寧な情報発信が必要であるとの意見があった。
- ・ 声が出なくても何らかの反応があれば認めてあげたい。「地域の大人から声を掛ける」「顔見知りになる機会を増やす」ことの重要性についての意見があった。
- ・ 子供だけでなく、通りかかる地域の大人全員にも挨拶をするようにしたところ、地域全体で挨拶が返ってくるよい循環が生まれたという事例も報告された。
- ・ 昔のように「決まった正解(廊下を走ってはいけない等)」を押し付ける道徳ではなく、子供たちが自分の考えを自由に出し合い、異なる意見も認め合う現在の授業スタイルのよさについて意見があった。
- ・ 廊下歩行や食事などのマナー指導は家庭環境の影響も大きい。一律に禁止する対症療法ではなく、子供自身に必要性を気付かせる関わり方の大切さについての意見があった。
- ・ 室内派の子供たちにも外遊びの有効性を説明したり、外に出たくなる楽しい仕掛けを考えたりすることの必要性も提案された。

※ 第3回学校運営協議会は、協議内容・主な意見について記録に残すことに承認しました。

第4回の学校運営協議会は、令和8年12月2日(水)に国立第四小学校で開催します。